



ロータリーは機会の扉を開く
Rotary Opens Opportunities

RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Open Opportunities

クラブテーマ

原点から未来へ Get Back To the Future

会報

No. 1142

豊橋東ロータリークラブ

2020-2021

第27回例会

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：角谷 歩、副会長：西 崇秀、幹事：木所 壮太、出席・会報委員長：鈴木 康代

令和3年4月7日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA 担当：出席・会報

国歌「君が代」、ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」：中澤 理 さん

ゲスト

国際ロータリー第2760地区 研修実行委員会 副委員長

西名古屋分区 ガバナー補佐 照井 葉 氏 (名古屋大須 RC 所属)

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	3月24日修正出席率	ビジター
51名	45名	6名	13名	71.74%	100%	0名

会長挨拶

角谷 歩 会長

4月に入り新年度がはじまって最初の例会となります。通常であれば、桜が咲き誇る中、新入生・新人を迎え、新たな気持ちでこれから一年のことを考える時期ですが、大阪・兵庫を中心に、新型コロナウイルスの感染が再拡大し蔓延防止重点措置が適用されるなど落ち着いた新年度となってしまいました。先日発表されたジェンダー・ギャップ指数によると、日本は120位という低位にとどまっています。私どもは3名の女性会員がおられますが、クラブの活性化に向け、引き続き多様性の確保・向上に努めてまいります。

本日のプログラム

『ロータリーで大切な三つの「わ」』

照井 葉 氏

コロナ禍の中、ガバナー補佐として各クラブを訪問していると、ある共通している不思議な出来事に気が付きました。各クラブ口を揃えて言うのが、出席率が良くなった事です。今まであまり例会に出席していなかったメンバーが集う事から始まり、会う事の喜びを知り、肩の力を抜き、気軽に会話ができるコミュニケーションの場として例会の必要性を再認識できた、と言う事です。本日のテーマは『ロータリーで大切な三つの「わ」』です。一つは、話す『話』、そして輪になる『輪』、力を合わせる足し算の『和』です。まず『話』を持ってきたのは、やはり顔と顔を合わせて話すことが大切だからです。日本語は公用語でなく表現の広さがある曖昧で難しい言葉です。日本でも『にほん』か『にっぽん』か場面によって言い方が異なります。また、日本語は主語が省略されることが多く、海外の方からは WHO? と問われてしまうことが多々あります。文章を読んで伝えるのが大変難しい言語です。皆様に質問ですが『黒い目のかわいい女の子』を読んでください。実は、区切るところによって伝わり方が違います。『黒い目の』『かわいい女の子』『黒い目のかわいい女』『の子』など6種類くらいの違いができます。最近面白かった事で『人気のない商店街』を『にん



きのない』と伝えたレポーターがいました。『ひとけのない』が正しく、プロでも間違いをしてしまいます。インタビューではいかに聞きたいことを聞き出せるかがポイントですが、淡々と質問するのではなく会話を楽しみながら導くことが大切です。人の話をきちっと聞くことが大切で、聞くことが上手な人ほどうまく聞き出せます。食レポでもうまく伝える方法があります。『甘い』『おいしい』『やわらかい』の3つを表現に入れると上手くできます。逆にこの言葉を使わずに表現させようとするとどう甘いのか、どうやわらかいのか、どうおいしいのか、表現にボキャブラリーがあるか大切になります。皆さんは例会前にどんな会話をしていますか。雑談が大切で、中身の無いことに意味があります。結論を出さず気楽に話す事は、コミュニケーションのツールとして最大の武器です。顔を合わせたこの会話の中で、色々な問題提起が生まれ、アイデアが出てその地域の問題をどうにかしていこうというのがロータリーの歴史です。会話が輪となり広がり、そして互いに大切に協力し合う関係が生まれることがロータリーの良さと例会に参加することが重要であります。持続可能な良い変化をもたらす例会出席ということもロータリアンとしてプラスしておいた方が良いのではないかと思います。

3分間スピーチ

長本 康孝 さん

4月から子供が中学にあがり、妻から教科書が大幅に切り替わると連絡をうけ驚いたことを報告します。2021年4月から学生指導要領が大幅に変わりました。なぜ変わるのか調べると、社会の変化や技術の進歩により適切な対応が掲げられ、知識詰め込み型の教育から、思考力、判断力、表現力を重視した教育に変わり、また全ての教科書に『SDGs』(持続可能な開発目標)がテーマとなり自ら語り、自ら考え、行動する事を国として教育する形となっています。私たちロータリアンが打ち出すものが子供たちはもう学んだことになっているかもしれないので私達も身を引き締めて勉強していかなければいけないと思いました。



原稿：三輪 真大 さん / 写真：近藤 喜典 さん